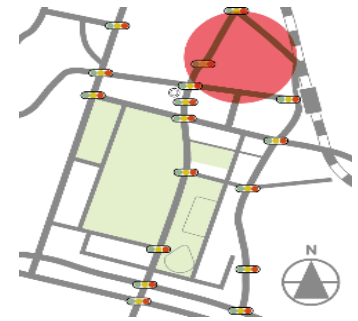


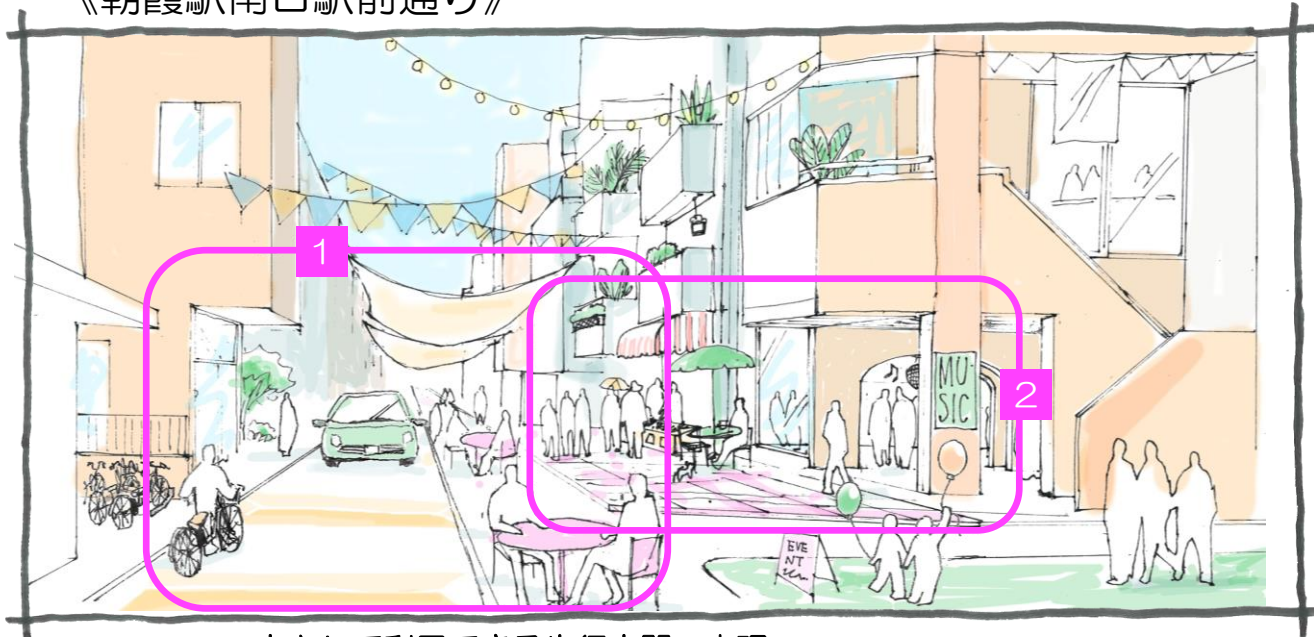
## 2 朝霞駅南口駅前通り及び周辺道路【EN-GAWA 縁側】

### 交通を整理し、歩く人を大切にするみちへ

安全な歩行空間を実現し、軒を連ねる店舗から賑わいがしみ出し、顔なじみの笑顔と声掛けが生まれる『縁側』のような場所へ。予定外の買い物をしてしまったたり、ついつい道端で世間話に花を咲かせてしまうような、歩きたくなる『人の道』です。



### 《朝霞駅南口駅前通り》



日常的な朝霞駅南口駅前通りの様子

- 1 車道の有効活用  
歩行者天国実施や、一方通行化など
- 2 店舗前空間の有効活用  
店舗内の賑わいを屋外までしみ出させる

### 空間イメージ 安心して利用できる歩行空間の実現

- ・ 安心できる歩行空間のあるエリア
- ・ まちの賑わいを創出する
- ・ 多様な人々の交流が生まれ、活気を創出するエリア

### 取り組みの方向性

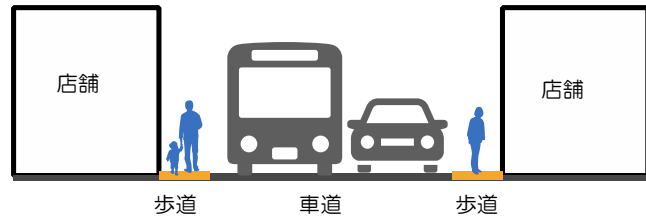
- ◆ 一方通行化等の交通規制により、必要な交通機能を確保しながら、歩行者空間の安全性を確保する。
- ◆ 車と人、自転車と共存する空間へと転換し、より多くの人々で賑わう商店街を創出する。
- ◆ 「人と人、人とまちのつながり」を生み出す拠点として、イベント開催を積極的に行い、市全域の発展へと繋げる。
- ◆ 店舗の賑わいが屋外までにしみ出すような、多様な利用を創出する。
- ◆ 無電柱化やユニバーサルデザイン化を推進する。

### イメージ

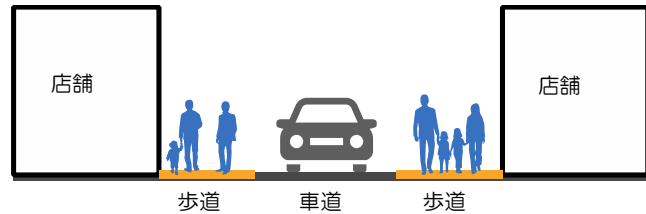


# 【未来のイメージ（朝霞駅南口駅前通り）】

① 現況 (車両相互交通・歩道)



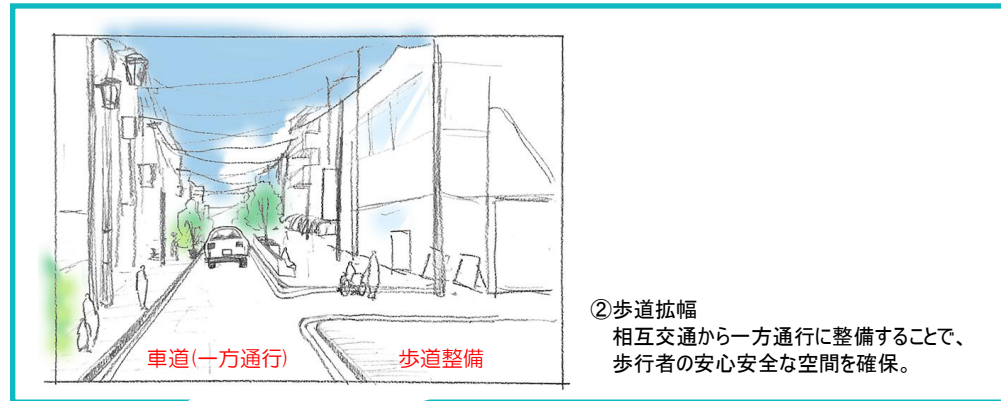
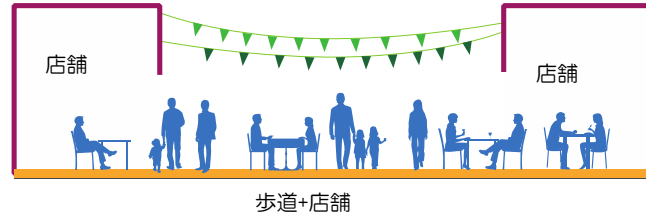
② 一方通行化により車道を狭め歩道拡幅



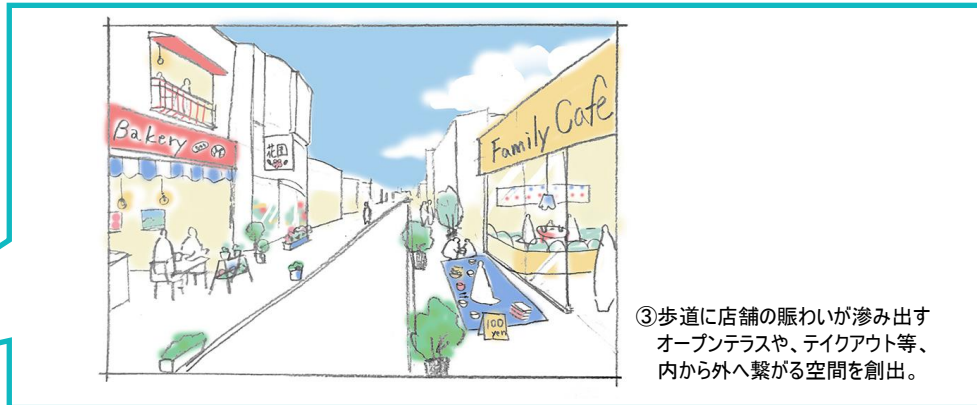
③ 店舗からのしみ出し



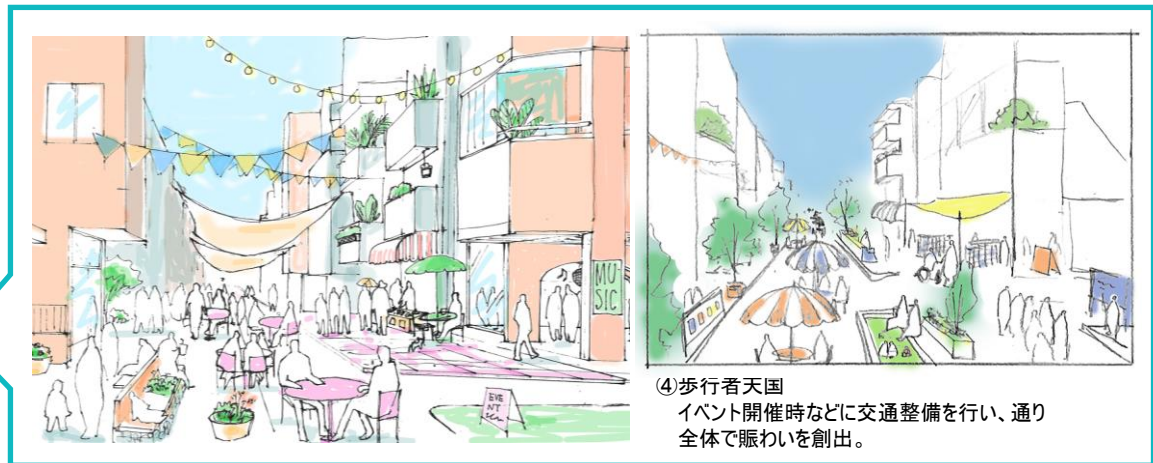
④ 歩行者天国



② 歩道拡幅  
相互交通から一方通行に整備することで、歩行者の安心安全な空間を確保。



③ 歩道に店舗の賑わいがしみ出す  
オープンテラスや、テイクアウト等、内から外へ繋がる空間を創出。

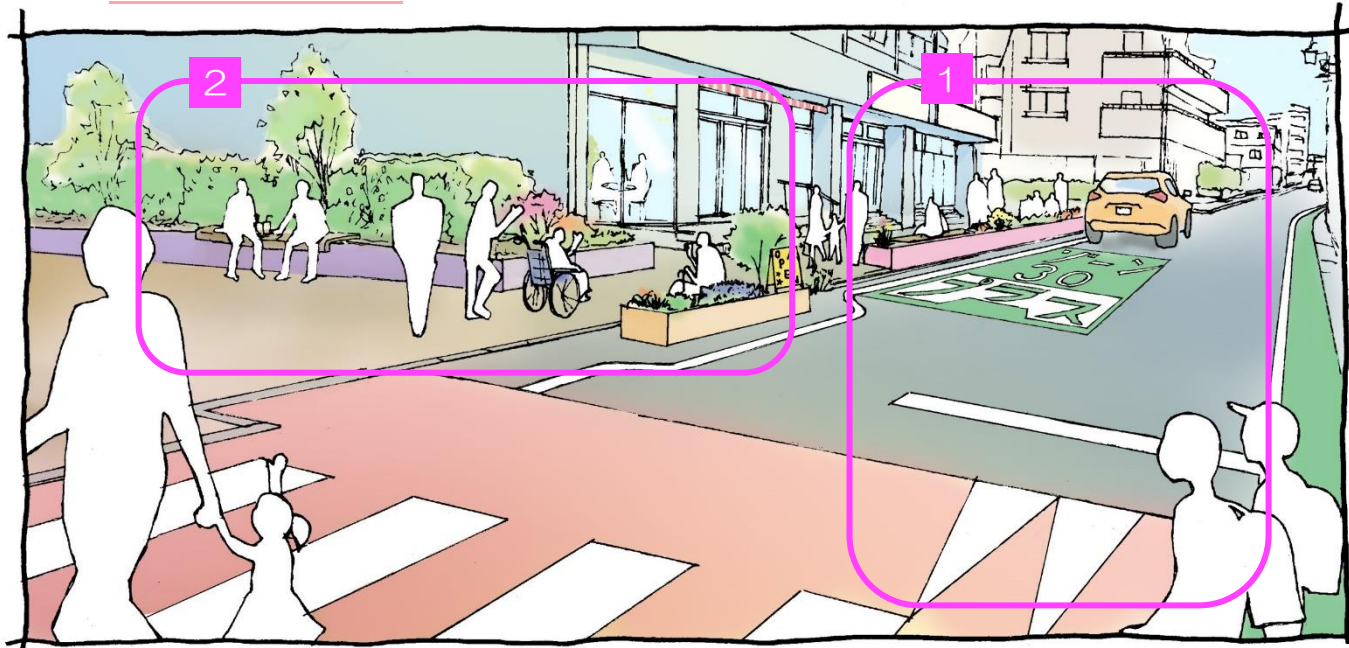
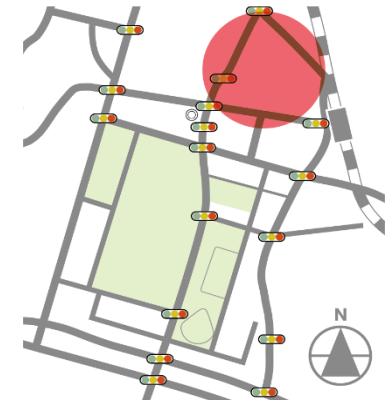


④ 歩行者天国  
イベント開催時などに交通整備を行い、通り全体で賑わいを創出。

# 《朝霞駅南口周辺道路（市道1号線・5号線等）》

## 交通を整理し、歩く人を大切にするみちへ

安全な歩行空間を実現し、軒を連ねる店舗から賑わいが滲み出し、顔なじみの笑顔と声掛けが生まれる『縁側』のような場所へ。予定外の買い物をしてしまったら、ついつい道端で世間話を花を咲かせてしまうような、歩きたくなる『人の道』です。



日常的な市道1号線の様子

- 1 ゾーン30プラスの指定により、車両の速度抑制、通過交通の抑制を図る
- 2 歩行者が安心して歩ける歩行空間や休めるスポットを創出する

### 空間イメージ 歩行者優先のみちづくり

- ・ 安全な歩行空間が確保されたエリア
- ・ 歩行者がゆっくりと休憩できるエリア
- ・ 歩行者と車両が安心して通行できるエリア
- ・ まちのにぎわいが感じられ、楽しく、安心して歩けるエリア

### 取り組みの方向性

- ◆ 朝霞駅南口駅前通り及び周辺道路を一体的に考え、ゾーン30プラス等の面的な交通安全対策を実施し、安心して歩ける道路環境整備に取り組む。
- ◆ 暫定的な歩行空間の確保を行いながら、将来的には道路拡幅による歩道の整備を行う。
- ◆ 民地の活用とも連携しながら、歩行者が休めるファニチャーや植栽等の設置に取り組む。
- ◆ 将来的には交通規制を活用した賑わいづくりを検討する。

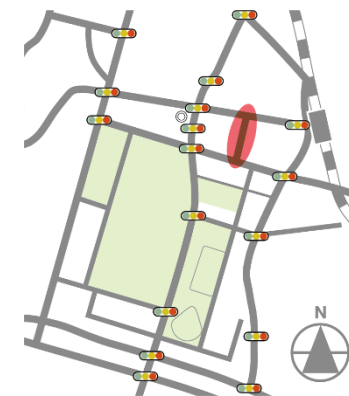
### イメージ



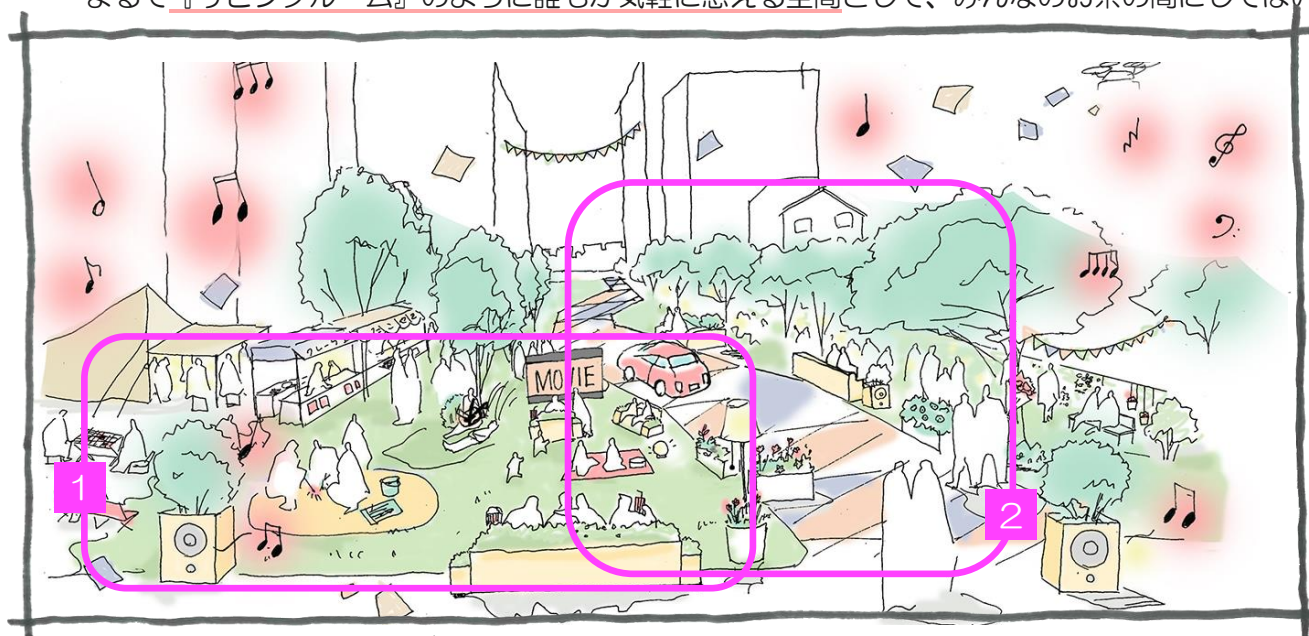
### 3 駅西口富士見通線【Living 居間】

#### ゆとりの空間を活かして特色あるみちへ

賑やかな通りに挟まれながらも閑静なこの場所は、一息できる休憩ポイントや商店街等の荷捌きのエリアに。まるで『リビングルーム』のように誰もが気軽に憩える空間として、みんなのお茶の間にはいかがでしょうか？



日常的な駅西口富士見通線の様子



1 公共空地を活用した人々の憩いの広場の整備

2 車道の幅員縮小  
歩道を拡幅し、歩行者が安心して通行できる空間の整備

#### 空間イメージ 人中心の街路空間

- ・ 2箇所の公共空地を広場として有効活用し、賑わいを創出するエリア
- ・ 交通安全対策、歩行者優先の道づくり
- ・ みどり空間、グリーンインフラの取り組み

#### 取り組みの方向性

- ◆ 公共広場の活用による交流の場を設置する。
- ◆ 朝霞駅南口駅前通りと連携したイベント等の道路の有効活用を行う。
- ◆ 広幅員を活かし、グリーンインフラやファニチャーも取り入れた、人中心の安心安全なみちへとリニューアルを行う。
- ◆ 無電柱化による景観づくり、交通安全対策を行う。

#### イメージ



# 【未来のイメージ】

## 公共空地活用方法



人々の憩いの場として、ファニチャーを設置。  
公共空地-2の整備は、公共空地-1と連動した  
広場としてイベントでも活用できるようにする。

### 公共空地-1 利用イメージ



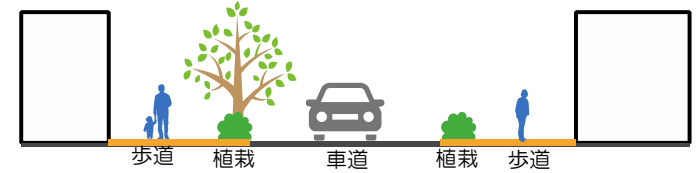
### 公共空地-2 整備イメージ



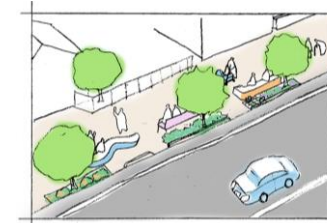
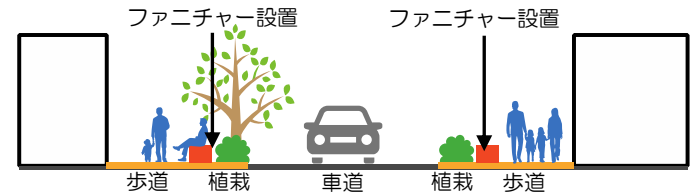
緑地整備により、様々な活用法のある広場とする。  
賑わいを創出する広場とする。

## 歩車道活用方法

### ① 現況 (車両相互交通・歩道)



### ② 歩道にファニチャー設置



ファニチャー設置により、  
ウォークブルなまちづくりの実現

### ③ 歩道整備・ファニチャー設置

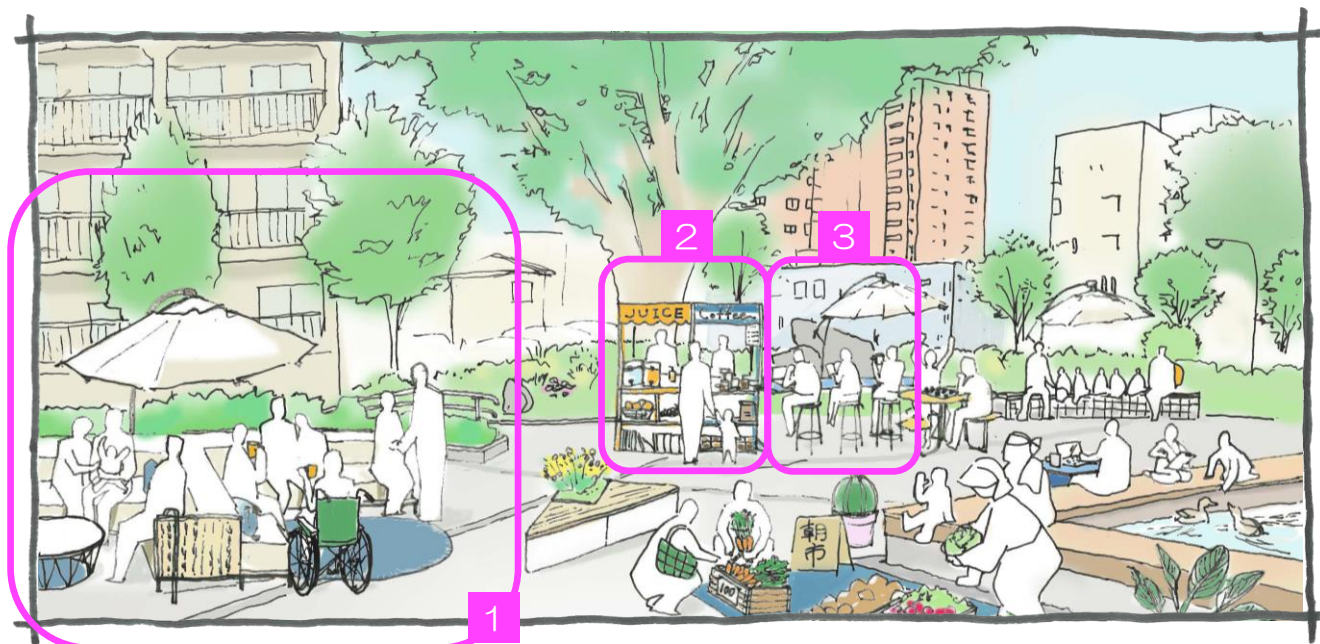
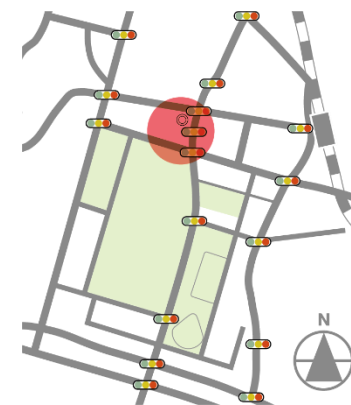


歩行者に優しいみちづくりで  
安心安全な歩行空間の確保

## 4 市役所前広場（花の池テラス）【Lounge 応接間】

まちの顔として、朝霞の未来を象徴する広場へ

市民の方々はもちろん、それ以外にも多くの方々をお迎えするこの場所は、爽やかで清涼感のある『応接間』とします。用事がある人も、そうでない人も、立派なケヤキの足元の水と緑のラウンジで朝霞の魅力に触れ、むさしのフロント朝霞の魅力を知ることになるのです。



日常的な市役所前広場の様子

- 1 ラウンジのように寛げるファニチャーの設置
- 2 ドリンクスタンドの出店
- 3 コワーキングスペースの設置

### 空間イメージ 都会的空間と自然をつなぐ、憩いと交流の拠点

- ・ 水辺の花とみどりを楽しみながら、多様な人々が心地よく過ごせるエリア
- ・ まちの魅力の発信源となり、まちなかを繋ぐ拠点。

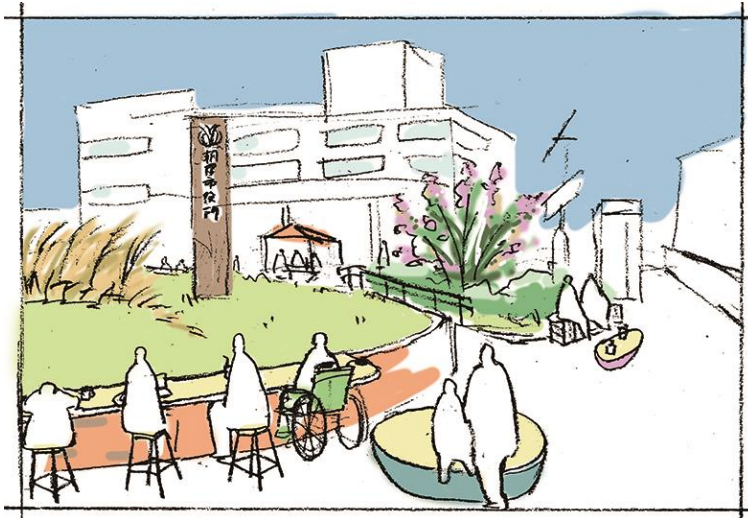
### 取り組みの方向性

- ◆ 利用者が居心地良くつろげたり、歓談や飲食、テレワークなど 多目的に使えるラウンジのような空間をファニチャーや日除けの設置などにより創出する。
- ◆ ASAKA STREET TERRACE、冬のあかりテラスなどに活用する。
- ◆ 開放的な広場を利用したイベントを開催する。
- ◆ 情報発信ツールを設置し、イベントや商店街などのまちの情報を発信することで地域活性化につなげる。

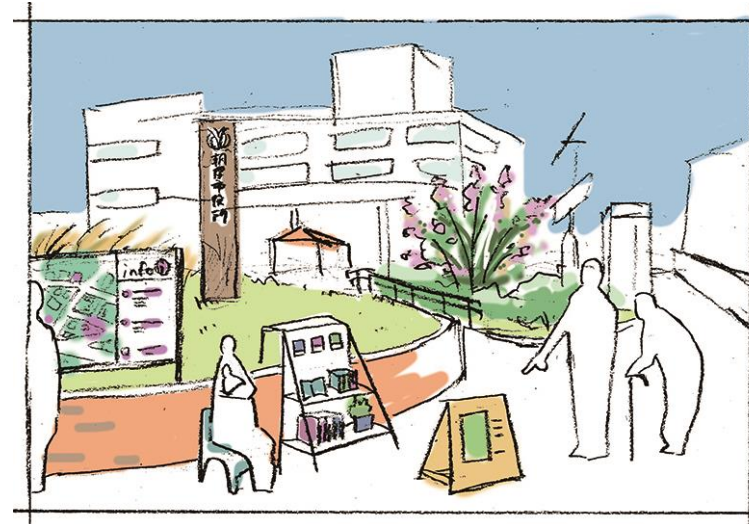
イメージ



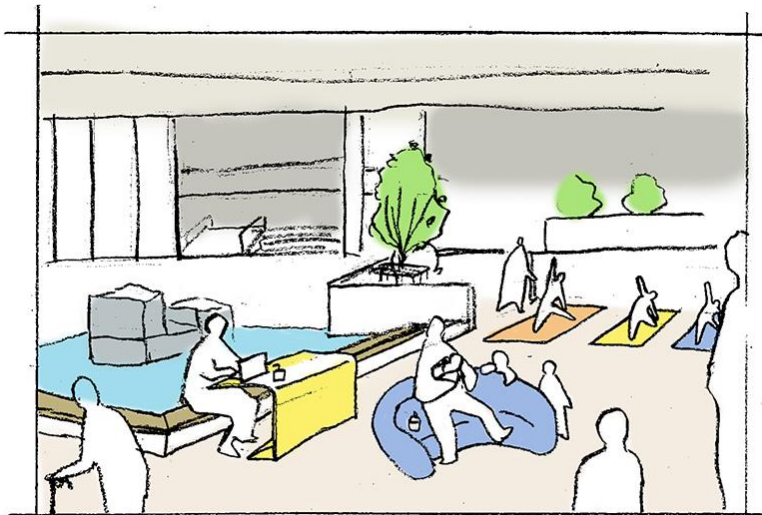
## 【未来のイメージ】



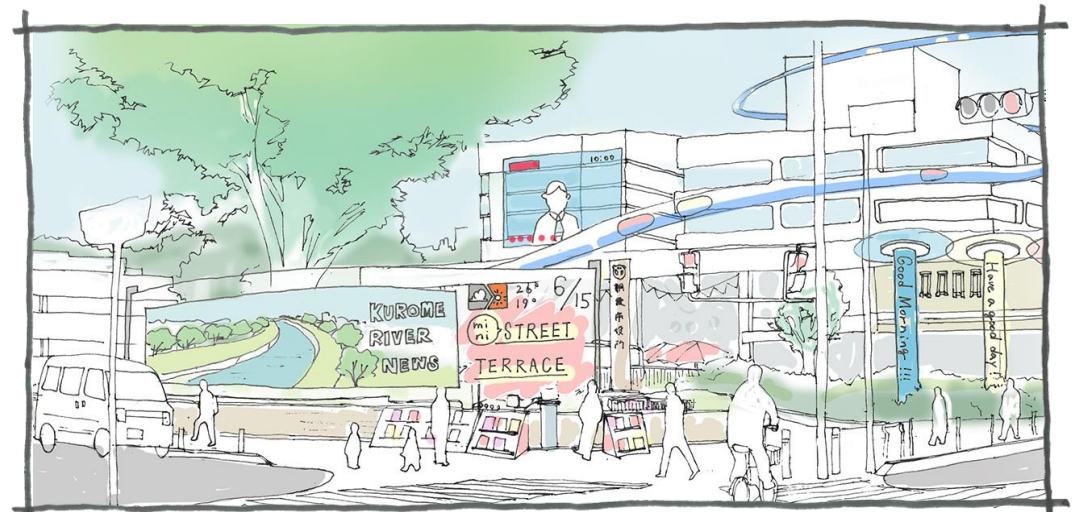
様々なファニチャーを設置。  
広場と一体となって多様な活用方法を提案。



日常的に様々な情報を発信する。



花の池を中心とした広場は、休憩や仕事、体を動かす等の活用方法を提案

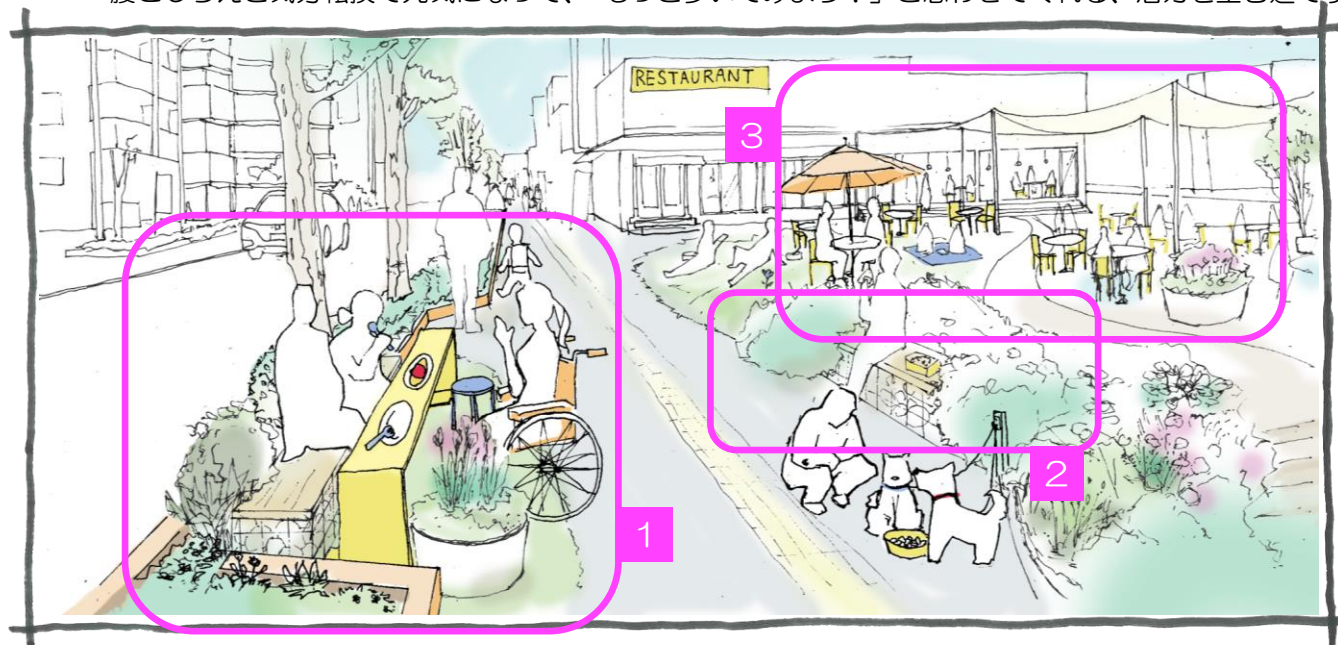
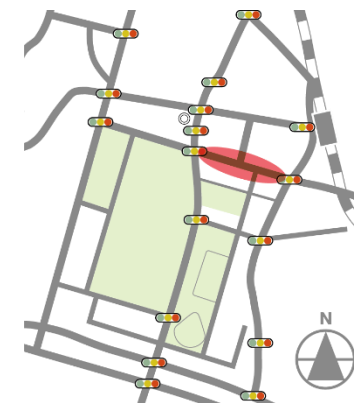


広場に来ることによっていろいろな街の情報を把握できる装置の設置。

# 5 市道 1000 号線【Dining 食堂】

## 食事を楽しみながら、発見のあるみちへ

ロードサイドタイプの大型飲食店が建ち並ぶこの道は、ゆったりと食を楽しむ『食堂』です。  
魅力的な店舗アプローチや屋外テラス、ポケットスペースで、お客さんも歩行者も楽しめます。  
腹ごしらえと気分転換で元気になって、「もっと歩いてみよう！」と思わせてくれる、活力を生む道です。



日常的な市道 1000 号線の様子

- 1 ファニチャーの設置による寛ぎの空間の創出
- 2 店舗と協働の植栽地整備
- 3 店舗駐車場を活用したイベント等の開催

### 空間イメージ 沿道店舗と一体となった歩道空間の充実

- ・ 歩道の安全が確保されており、街路樹による緑化でまちの景観を形成しているエリア
- ・ 植栽地を活用したグリーンインフラの実現

イメージ

### 取り組みの方向性

- ◆ 店舗前の駐車場等と一体となった、ウォークアブルな歩道空間を創出する。
- ◆ 街路樹と店舗側の植栽地の統一感を図る。
- ◆ バス停や交差点周辺など、人々の滞留が多い箇所にファニチャーを設置することで、憩いの場所を創出する。



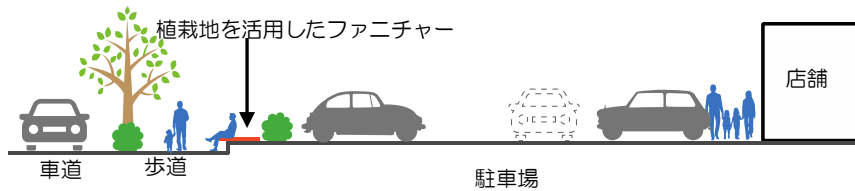


# 【未来のイメージ】

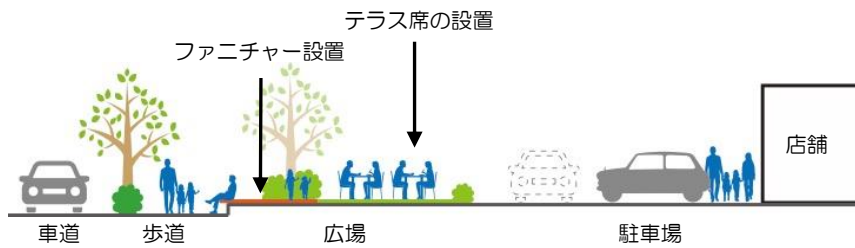
①現況



②歩道側にファニチャーを設置



③駐車場を一部活用した広場作り



②イメージ



植栽地の段差を使ったファニチャーを設置。植栽地の充実を図る。

③イメージ

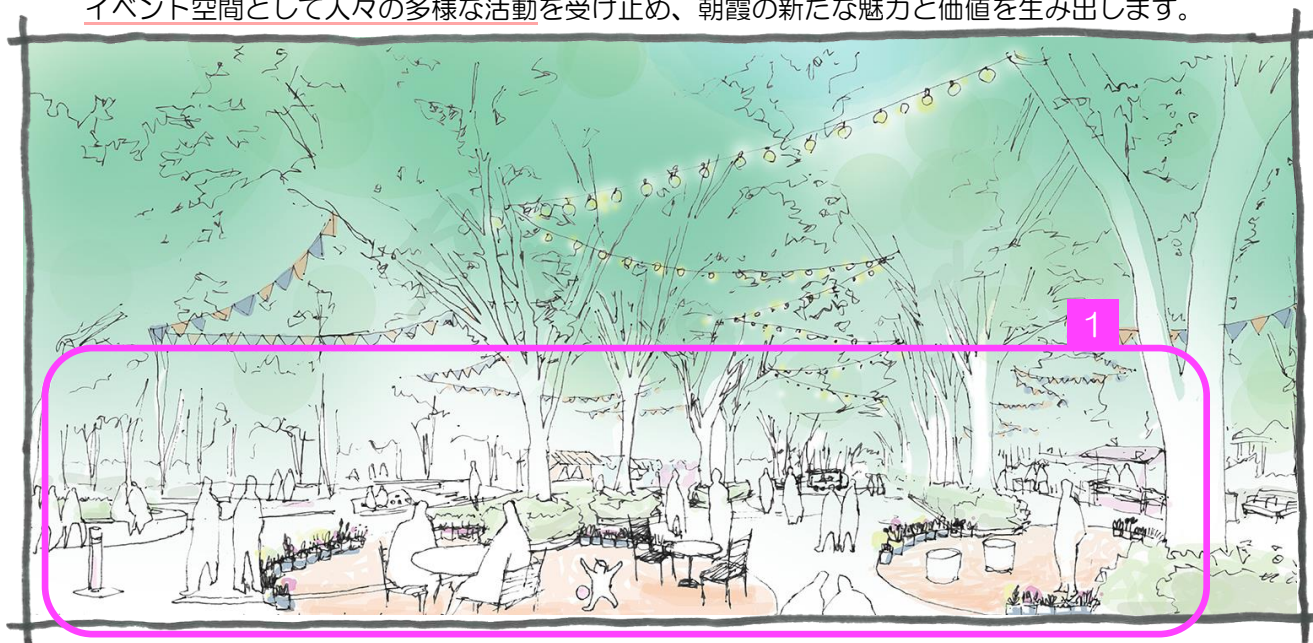
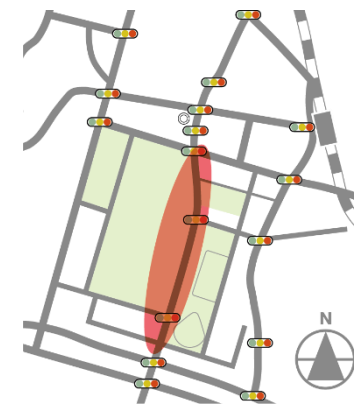


店舗と協働した広場作り。  
テラス席の設置や、歩行者の憩いの場を創出。

## 6 シンボルロード【Terrace テラス】

### まちの象徴となり、五感で感じるみどりのみちへ

武蔵野の木々と木漏れ日が優しく包んでくれるシンボルロードは、人々とみどりが出会う『テラス』として日々の暮らしに安らぎをもたらしてくれます。ウォーキングやランニングなど、日常的な利用だけではなく、時にはイベント空間として人々の多様な活動を受け止め、朝霞の新たな魅力と価値を生み出します。



日常的なシンボルロードの様子

### 1 各種イベントの開催

#### 空間イメージ 自然の中に包まれる安らぎの空間

- ・ 自然溢れるエリア
- ・ ケヤキ並木の足下は開放的な整備が行われている

#### 取り組みの方向性

- ◆ 日常的なイベントの開催や食事施設・休憩施設の設置等、日常的な利用の充実を図る。
- ◆ 年間を通しての様々なイベントの開催を実現するほか、さらなる魅力向上に向け、様々な活用方法を検討・実施する。
- ◆ 歩行者利便増進道路(ほこみち)として指定し、常設店舗の設置に向けた仮設店舗の設置を検討・実施する。
- ◆ 無電柱化を推進、グリーンインフラや暑熱対策の充実を図る。
- ◆ 横断歩道の整備等を行うことで、中央公民館や総合体育館、市立図書館等、向かい側の公共施設との連携を図る。
- ◆ 空間の魅力を向上させるサイン、照明の設置を検討する。

#### イメージ



# 【未来のイメージ】

## ①日常利用



## ②イベント等

車道を開放し、歩道・緑地と一帯で賑わいを創出



全備に充ちて、ヤツアノカノの活用方法を模索する。



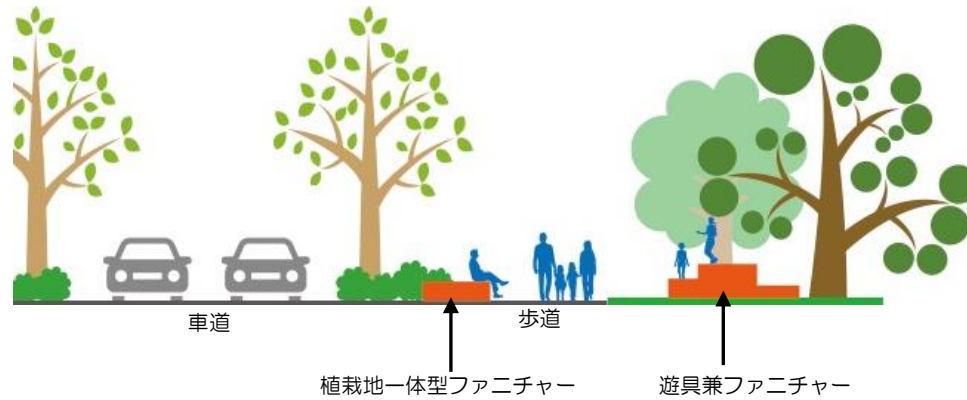
・日常的に音楽にふれ合う空間を創出。様々なシーンに合わせた音楽がまちを彩る。  
・シンボルロード向かいの各公共施設で行っているイベント・活動やその利用者との連携も想定する。



車道を活用したイベントの開催。  
一体利用することで、開放感のある空間を創出。

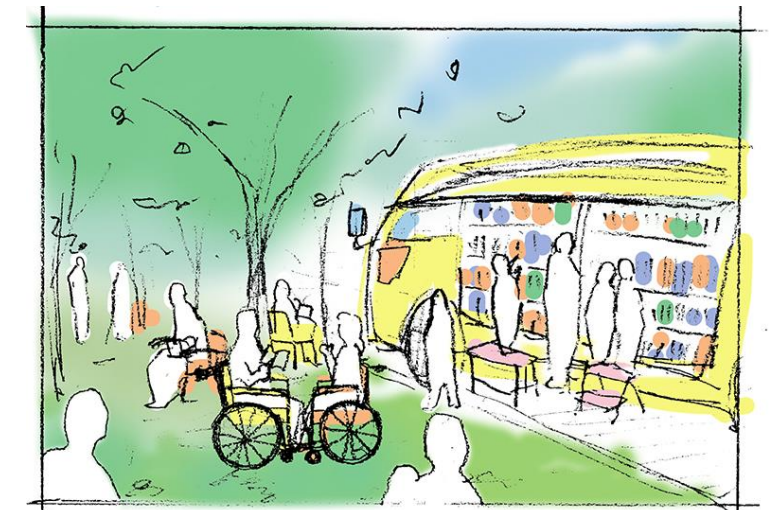
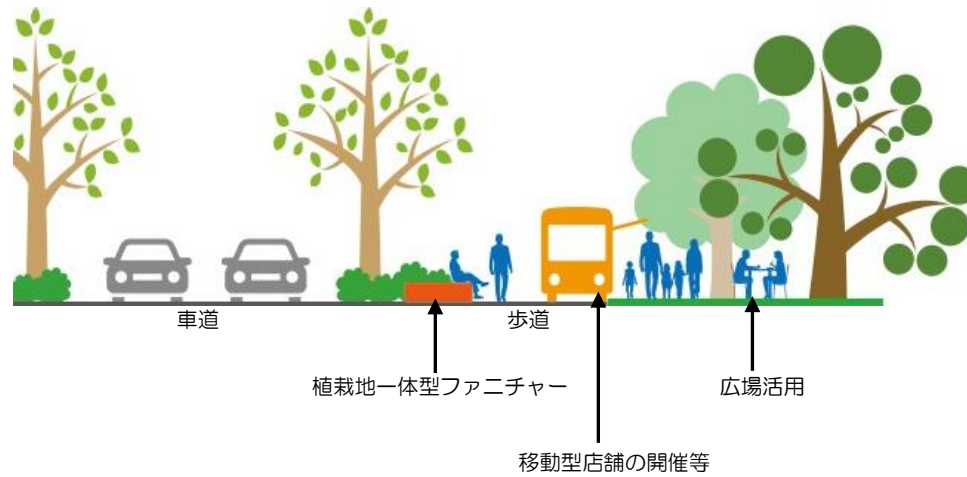
## 【未来のイメージ】

### ①ファニチャー設置



ファニチャーを設置。  
動線に変化を与える。

### ②緑地・歩道を活用

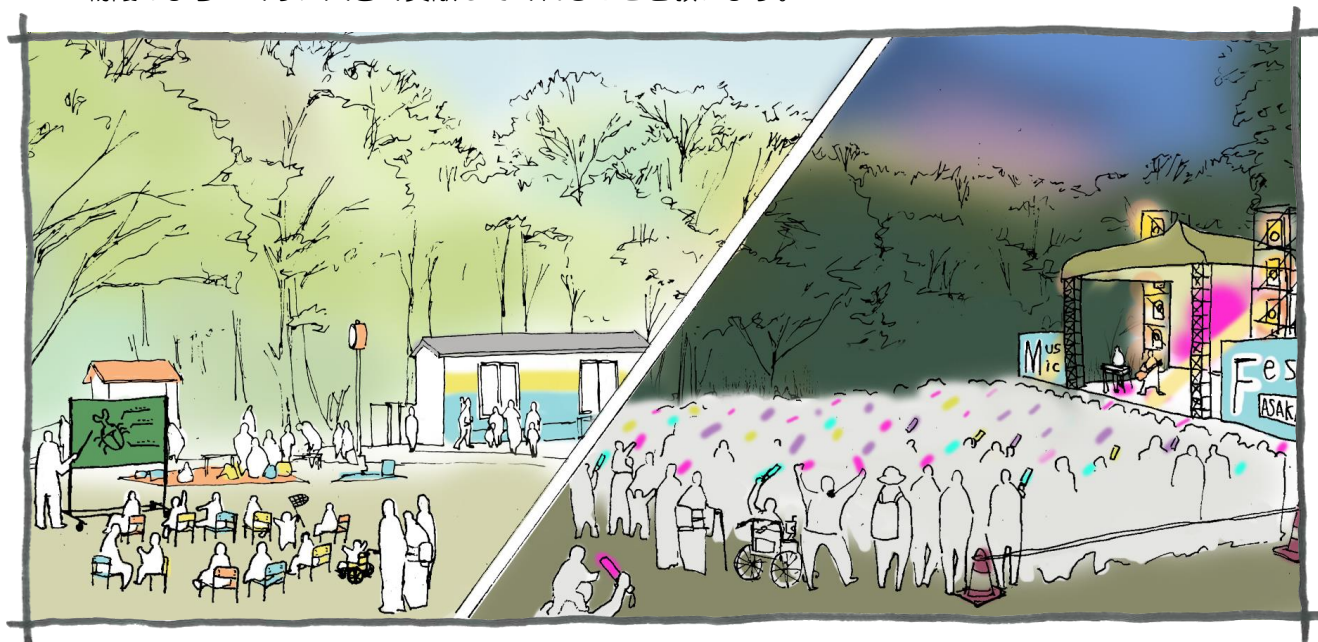
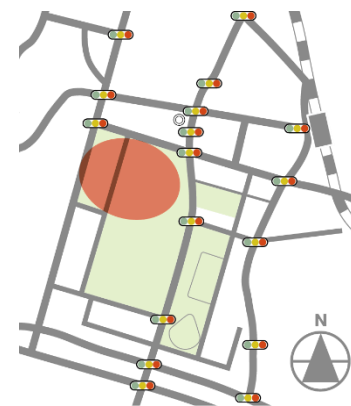


移動型店舗の開催や、マルシェの開催。  
広場・歩道の一体利用で心地よい歩行空間を創出。

## 7 基地跡地周辺（青葉台公園・あさかの森）【Garden 庭】【KidsRoom 子供部屋】

### 遊びながら学ぶ空間へ

子供たちの元気な声が響きわたる朝霞の森は、子供たちを伸びやかに育む青空の『子供部屋』です。  
既成概念にとらわれず、自由な発想で遊びながら学んだ子供たちが、  
朝霞のまちづくりに大きく貢献してくれることを願います。



日常的な朝霞の森の様子

### 空間イメージ 遊びや学びがある自由な開放空間

- ・ 自然を最大限に活用したアクティビティエリア
- ・ 音楽フェスやイベントの開催

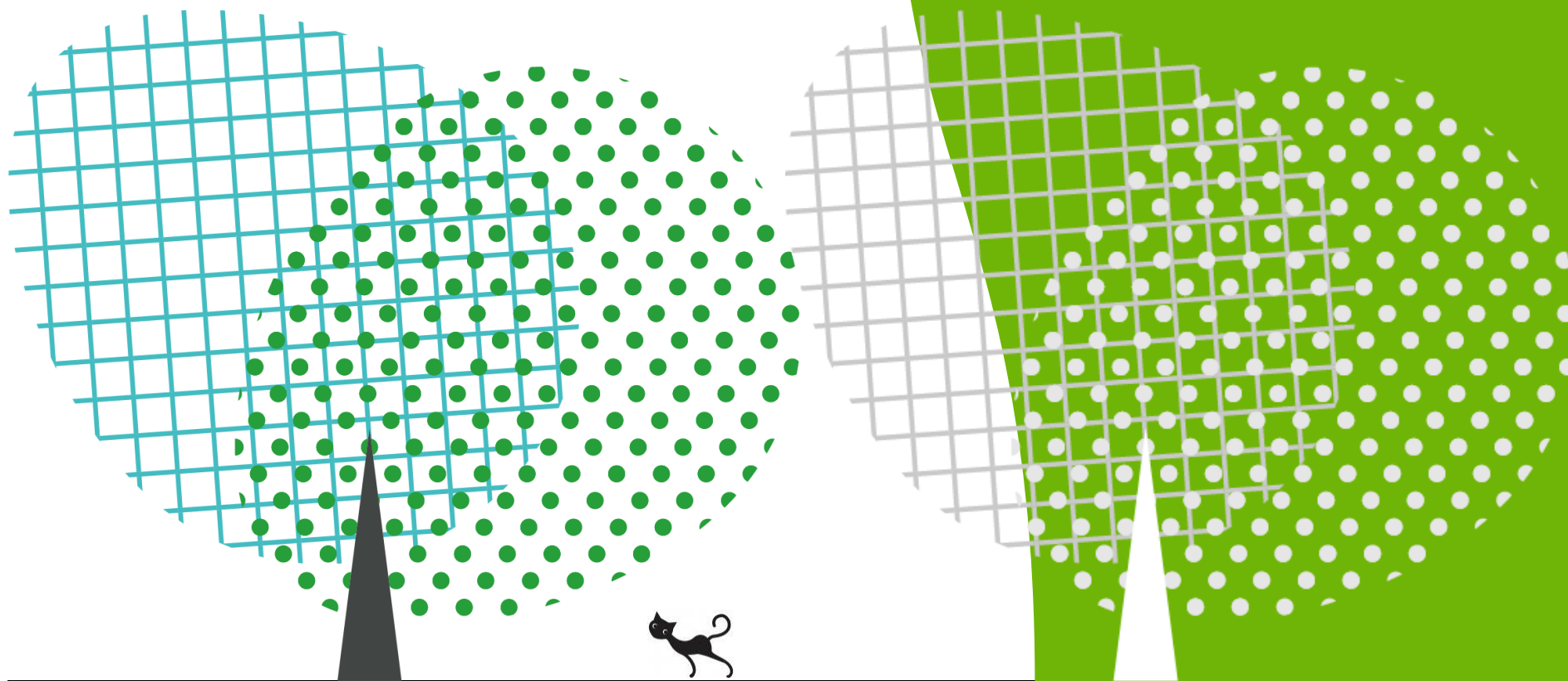
### 取り組みの方向性

- ◆ 日中利用プログラムや、夜間利用プログラムの検討。
- ◆ イベントの特別プログラムの検討。
- ◆ 朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画[改訂版]に基づいた整備の推進。

イメージ



## 04 目指す将来像を実現させるための施策



# 目指す将来像の実現に向けた取り組み

市民意見募集や、ASAKA STREET TERRACE で行ったアンケートなどを元に、将来像に向けた施策を作成。

今後も継続的に、市民意見募集、市民ワークショップの開催など、より多くの意見を盛り込んだ取り組みへと発展させる。

市民意見・商店会アイデアコンテストに寄せられた意見

- ・以前実施したアサカストリートテラスのようなイベントを月一回実施。全体での実施が難しい場合、半年に一回は歩行者天国に行う。
- ・おしゃれなキッチンカーを募集し毎日3台くらい／月替わり並べる
- ・祭り、イベントを定期的に行う。



【ASAKA STREET TERRACE プロジェクト】

- ・駅や市役所に置く紙のパンフレットマップを作成するとともに、スマホでも確認できるようデジタルマップに表示されるようにしておく。
- ・おしゃれな商店街地図をつくり駅や市役所、SNSで配布する。



【あさかの公共空間使い方ガイドブック作成運用プロジェクト】

- ・大きな壁やビルにストーリーアートを描きスポットにする。
- ・音楽の街朝霞ということで、アーティストやミュージシャンをプロモートしていく環境があると面白そうです。



【あさかのアート・ミュージックプロジェクト・黒板アート】

- ・ほぼたんをイメージした可愛いデザートやパンを各店舗作成し、売り出す。
- ・朝霞駐屯地の自衛隊とのコラボ企画で、自衛隊グッズ、ミリタリーもの(軍服や軍飯)の販売



【あさかのグッズ作成プロジェクト】

- ・いつ行ってもどこかの店で何かやっている商店街。楽しくなる商店街。
- ・食べ歩きスタンプカードや、サービス券、ポイントカードをつくる。『ほぼ(ほぼたん)イントカード』など。



【商店街にぎわいプロジェクト】

- ・駅前にはシャッターがしまっているお店が多いが、空き店舗情報を朝霞のホームページやTwitterで知らせてみるのはいかがでしょうか。
- ・シャッター店舗を借り上げて、食事どころ、ユニークな買い物店、アート、交流場所などに充てる。高齢者、子供連れ、若者の集まるエリアに。



【店舗リノベーションプロジェクト】

- ・ベンチだけではなく、テーブルがあると助かる。食事をしたり、将棋、チェスなどボードゲームができて、リモートワークが外でもできるように。
- ・小さな子供がいても飲食できる設備(オムツ替えなど)やベンチ、ちょっとした公園があると良い



【ストリートファニチャー設置プロジェクト】

- ・駅前通りには狭い路側帯しかなく、その上、停車車両が路側帯を塞いでいるなどして歩きづらく危険であり、街の印象を損なっている。人がすれ違える広さの歩道を整備するか、一方通行にして車を減らすなどして歩行者の安全を確保してほしい。
- ・駅前通りを歩行者と自転車の専用道路にする



【人中心のみちづくりプロジェクト】

# 検討施策【ASAKA STREET TERRACE プロジェクト】

実施エリア：朝霞駅南口駅前広場・朝霞駅南口駅前通り・駅西口富士見通線・市役所前広場（花の池テラス）・市道1000号線・シンボルロード

「あさかの『日常』をあるこう」をコンセプトに、人中心の、未来のストリートを思い描きながら様々な企画や店舗営業でまちなかを盛り上げる。日常的に開催される「ちいさなテラス」で常に魅力を発信し、年に一度の大規模開催では朝霞市内外の人々で賑わうイベントへと発展する。

あさかエリアデザイン会館の専科事業

## Asaka Street Terrace 2023

—あさかの「まちなかテラス」をあるこう—

**11.3 日 10:00-21:00** **11.4 日 10:00-15:00**

※雨天決行 荒天中止

会場：朝霞駅南口駅前広場、朝霞駅南口駅前通り、朝霞駅西口富士見通線、市役所前広場（花の池テラス）、市道1000号線、シンボルロード

アサカストリートテラス2023  
会場：朝霞駅南口駅前広場、朝霞駅南口駅前通り、朝霞駅西口富士見通線、市役所前広場（花の池テラス）、市道1000号線、シンボルロード

Asaka Street Terrace 2023

11.3 11.4

10:00-21:00 10:00-15:00

朝霞駅南口駅前広場、朝霞駅南口駅前通り、朝霞駅西口富士見通線、市役所前広場（花の池テラス）、市道1000号線、シンボルロード

朝霞駅南口駅前広場、朝霞駅南口駅前通り、朝霞駅西口富士見通線、市役所前広場（花の池テラス）、市道1000号線、シンボルロード

詳細な開催場所と内容を掲載



ASAKA STREET TERRACE 2023の様子



式典の様子





## 検討施策【あさかのつかいかたガイドブック作成運用プロジェクト】

実施エリア：朝霞駅南口駅前広場・シンボルロード・基地跡地周辺など

あさか市民に向けた、あさかにある公共空間（道路や広場、公園）などをどの様にしたら使えるのか、事例と共に紹介する。  
ガイドブックの周知・運用を通じて、公共空間を使いこなす人を増やしていく。



場の名称	シンボルロード
ポジション	朝霞市が所有する道路
管理	朝霞市が国から無償譲渡されています
使える人・団体	朝霞市内指定団体（※1）
申請のしかた	朝霞市役所5階の都市建設部に来てください
利用料金	無料
禁止事項	火を起こす

事例 ストリートテラスというイベントにて、音楽・物販・飲食の提供



利用するときの条件や申請方法、申込窓口や禁止事項、法的な事も含めた一式を市民の誰もが分かりやすい表現にした冊子。

### ガイドブックイメージ

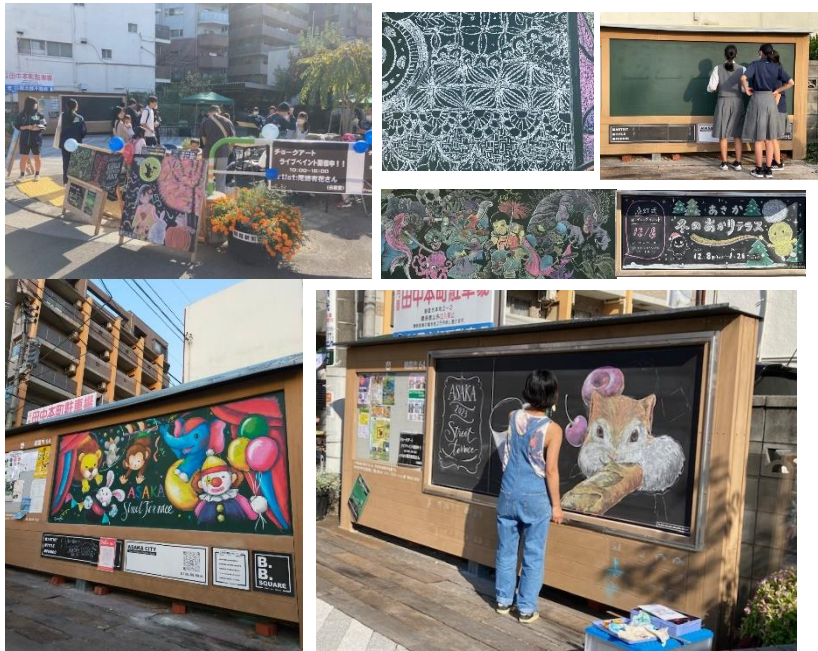


- ・言葉やビジュアルにより、人々に響くデザインで作成する。
- ・事例を載せることで、活用イメージを促進させる。

## 検討施策【あさかのアート・ミュージックプロジェクト・黒板アート】

実施エリア：朝霞駅南口駅前広場・朝霞駅南口駅前通り及び周辺道路・駅西口富士見通線（B.B.SQUARE）・シンボルロード

アイコンとなるイラストやアートをまち全体に展開し、人々の目にとまることで、エリアプラットフォームを周知させる。  
まち全体を彩り、日常はもちろん、イベント等でも様々な活用が期待できる。



B.B.SQUAREにて黒板アート作品の制作・展示  
黒板アート体験イベントも実施。



市民参加の音楽フェスやイベントでの演奏など、  
まちなかの様々な場所で音楽が奏でられる。



朝霞市制施行 50 周年の平成 29 年 3 月 15 日に誕生した「ぼぼたん」  
朝霞の自然豊かな黒目川のほとりに咲くタンポポから生まれ、まちの魅力を世界中に届ける。  
ぼぼたんをアイコンとし、まちなかをアートやイラストで彩る。

### 事例（まちなかでのアート展開）



風景に溶け込むアートを展開し、生活の一部に取り込む。

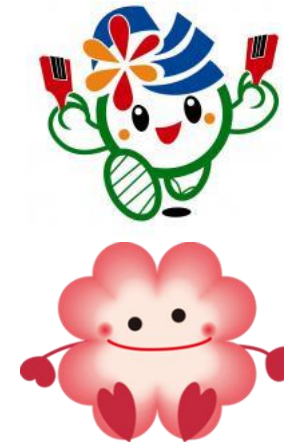
## 検討施策【あさかのグッズ作成プロジェクト】

実施エリア：朝霞駅南口駅前広場・朝霞駅南口駅前通り・駅西口富士見通線・市役所前広場・市道1000号線・シンボルロード

日常生活に溶け込む様々なアイテムを展開し、人々が活動することで幅広く魅力をアピールする。



ほぼたんのグッズ展開。  
文具をメインに人々の生活に寄り添う。



上：彩夏祭シンボルキャラクター 彩夏ちゃん  
下：朝霞市社会福祉協議会マスコットキャラクター アーシャ・くるくん



イベントのグッズ展開。  
イベント時だけの特別感をつくる。

### グッズ展開案



日常使い出来るアイテムの展開。



屋外で利用することで朝霞ならではの屋外時間を堪能できる。



多くの人が利用することにより、彩りのある風景を創出できる。

# 検討施策【商店街にぎわいプロジェクト】

実施エリア：朝霞駅南口駅前通りなど

駅側の飲食店やスーパー等、生活に密着する「LivingStreet」

空き店舗等を有効活用する「ArtStreet」

中間地点で、駅西口富士見通線との結節点の「CrossPoint」

エリアごとの特色を活かし、店舗のにぎわいを道までにじみ出させ、人々の流れを商店街の奥まで呼び込む

- 飲食店
- 物販・サービス
- 業務



通りを彩る様々な花。  
季節ごとに違う風景を楽しめます。

Flower Spot



店舗前を利用したギャラリー。  
朝霞発のアートと触れ合えます。

Art Spot



人々が集まる暖かい縁側空間。  
2つのエリアをつなぎ、人々の輪を広げます。

Engawa Park



飲食店の店舗前まで賑わいを。  
食を通して人々との交流を深めます。

Dining Spot



生活に密着した店舗。  
オープンな店先で人々を出迎えます。

Shopping Spot